



事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所 大阪証券取引所市場第二部
公告の方法 日本経済新聞に掲載
証券コード 7214

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3
TEL. 0745(44)1911(代表) FAX. 0745(44)1930
<http://www.gmb.jp>

GMB REPORT

第49期 年次報告書

平成22年4月1日～平成23年3月31日



グローバルに進展する モータリゼーションとともに

エンジンの円滑な回転を支えるウォーターポンプやファンクラッチ、
テンショナー&アイドラーベアリング。

ハンドル操作、エンジン駆動力を車輪に確実に伝えるユニバーサルジョイント。

快適な乗り心地を支えるサスペンション……

GMBは、日本をはじめ韓国、中国、タイを拠点に、
ドライバーの信頼に応える高品質な自動車部品を生産しています。

そして、それらは世界中の自動車メーカーを通じて、
世界中のドライバーに提供されています。

生産も販売もグローバルに —— それがGMBです。

社訓

和

Harmony

GMBグループ企業理念

技術革新と新製品開発を通じ、
自動車部品産業のオンリーワン企業として
国際社会に貢献します。

株主の皆様へ



TO SHAREHOLDERS

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。本年3月の東日本大震災により、被災されました株主の皆様には心からお見舞い申し上げます。

ここに、第49期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の年次報告書をお届けいたします。

当期の業績について

当期は、欧州諸国の財政問題や需要刺激策効果の息切れなどが懸念されましたが、拡大する新興国経済や金融緩和政策などによって金融危機後の緩やかな回復基調を維持しました。また、自動車業界におきましても、新興国需要の拡大が続く一方で、為替変動による国内完成車メーカーの輸出競争力の低下や需要刺激策の反動、さらには3月の東日本大震災による被害と業界全体への生産影響など、様々な環境変化が続きました。このような環境のなか、GMBグループでは、引き続き新車用部品・補修用部品の両市場における販売強化に努めてまいりました。特に金融危機後いち早く回復した韓国新車用部品市場に続き、欧州の新車用部品市場や米国やアジアなど海外補修用部品市場でも順調に販売を伸ばすことができました。また、需要の拡大に対応して主に海外拠点における設備投資によって生産体制を増強するとともに、中国を中心に協力メーカーの開拓をすすめ、供給体制の充実と収益強化に努めました。この結果、当連結会計年度の連結売上高は43,967百万円(前期比50.3%増)、連結営業利益は2,871百万円(同398.4%増)、連結経常利益は2,470百万円(同629.2%増)、連結当期純利益は1,420百万円(同1,790.5%増)となりました。

次期の見通し

次期の見通しにつきましては、新興国を中心とした自動車需要の拡大が続くなか、東日本大震災の影響や、素材価格の高騰、為替変動など、GMBグループをとりまく経営環境は、引き続き不安定な状況を予想しております。

このような環境のなか、引き続き韓国・中国を中心に新車用部品市場においては増産対応の設備投資をすすめ、補修用部品市場においては競争力強化のための供給能力の向上に取り組んでいきます。また、従来からすすめる「最適地生産・最適地



代表取締役会長
松岡 信夫



代表取締役社長
阪口 有一

購買]を目指したグループ拠点展開を推し進め、引き続き新車用部品と補修用部品の両市場における販売強化と収益力の強化に取り組む所存であります。

以上により、平成24年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高48,600百万円(当期比10.5%増)、営業利益3,100百万円(同8.0%増)、経常利益2,700百万円(同9.3%増)、当期純利益1,300百万円(同8.5%減)を計画しております。

株主還元に対する方針について

当社は、利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としており、当期の配当金は、年間32.5円とさせていただきます。また、次期の配当金につきましては、一層の株主還元を図るべく、従来の配当水準を引き上げるとともに、業績動向など総合的に勘案し、年間40円(当期比7.5円増配)を計画しております。今後も業績動向を勘案しつつ、この水準を安定的に継続していく方針であります。

内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく、海外生産拠点の拡充、コスト競争力強化、市場ニーズに応える技術・製品開発体制の強化など、グローバル戦略の展開を図るために有効投資してまいりたいと考えております。



クオリティこそGMBブランドの証です

GMBは、4つの基本理念に基づき、製品設計・製造を行っております。

機能・強度・耐久性など、自動車部品に求められる基本的な品質を保証するため、多年の豊富な経験を踏まえて日々改善・改良に努めています。

基本理念

HIGH QUALITY PRODUCTS
QUICK DELIVERY
COMPETITIVE PRICE
BEST SERVICE

主な製造部品

□ ユニバーサルジョイント

GMBのユニバーサルジョイントは、小型・軽量化を実現するとともに、高い強度や優れた耐久性によって、安全、確実な動力伝達を可能としています。

□ ステアリングジョイント

ハンドルの操作性を向上させるために、小型・軽量化が図られています。近年、電動パワーステアリングの普及に伴い、剛性の高い製品が要求されています。

□ ウォーターポンプ

アルミダイカストやプレスインペラーの採用により、究極の軽量化を達成。さらにベアリング一体化メカニカルシールを社内生産して低トルク構造と、動力損失の少ない高寿命なウォーターポンプを生産しています。

□ サスペンションパーツ

GMBはタイヤにおいてサスペンションパーツの素材成形から一貫生産しています。

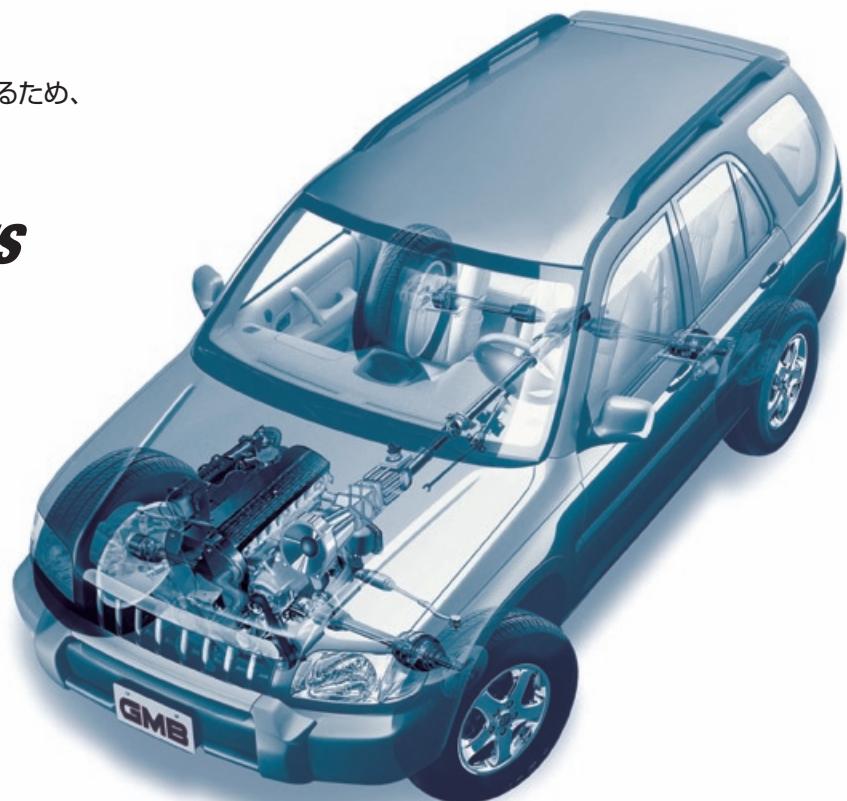
エンジン部品



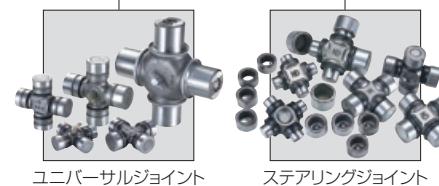
ウォーターポンプ

ファンクラッチ

サスペンション



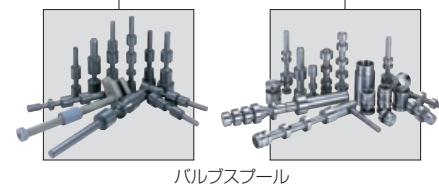
シャーシ部品



ユニバーサルジョイント

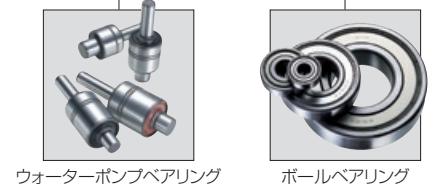
ステアリングジョイント

ミッション部品



バルブスプール

ベアリング



ウォーターポンプベアリング

ボールベアリング



テンショナーベアリング

アイドラーベアリング

生産工程

GMBは、素材をダイカスト、プレス、切削、研磨などの工程で成形し、その部材を自社で組み立てて製品としています。各工程が、不良品を出さないように厳しく品質管理を続けることで、低コストで、信頼性の高い自動車部品の生産が可能になるのです。



ダイカスト
 ウォーターポンプのボディ&ハウジングを成形します。



プレス
 複雑形状を後加工なしに鍛造成形のみで仕上げるネットシェイプを追求します。



切削/研磨
 NC加工機群によって鋼材を切削、研磨します。



熱処理
 加工後の金属組成を調整します。



組み立て
 社内で生産した信頼の部材を組み立てます。



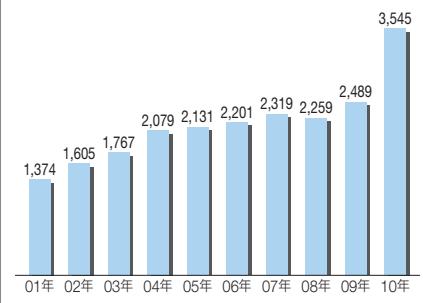
検査
 徹底した品質管理で、クレーム・ゼロを目指します。



TOPICS 1 ISO14001 認証取得

当社は2011年2月、国際標準化機構が発行する環境マネジメントシステムに関する国際規格である、ISO14001の認証を取得しました。自動車業界におきましても、環境に配慮した製品需要が高まっております。CSR(企業の社会的責任)活動の一環としても、今回の認証取得を契機により一層、環境への負荷低減に努めてまいります。

GMB KOREA CORP. の売上高推移 (億ウォン)



TOPICS 2 すべての海外グループ会社が過去最高売上を更新

当期は海外の連結子会社5社のすべてが、現地通貨ベースで過去最高売上を更新することができました。特にGMB KOREA CORP.(左記グラフ)は、世界的に販売を伸ばしている韓国完成車メーカーおよび系列部品メーカーとの取引が順調に推移するとともに、欧州をはじめ韓国外への販路拡大に努め、大幅な増収を達成することができました。

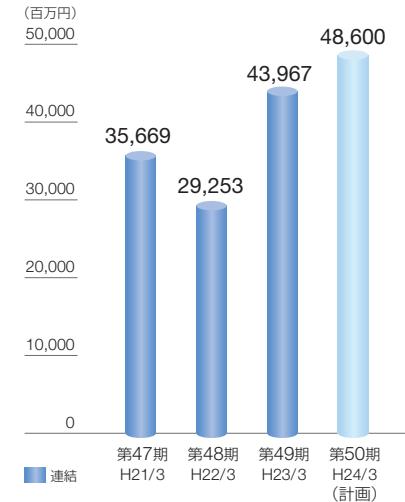
TOPICS 3 タイに新工場建設



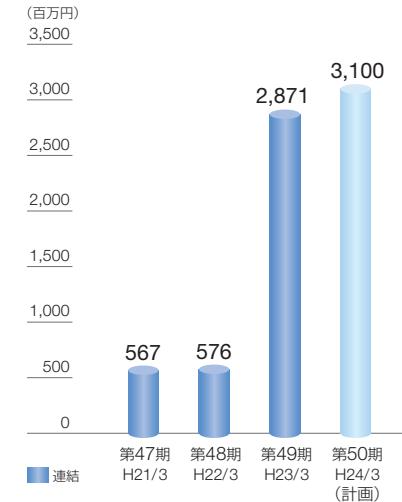
連結子会社のTHAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.において、生産能力拡大と日本からの生産移管を目的として、既存工場の敷地内に新しい工場と倉庫を建設しました。これにより、補修用部品市場において需要が高まっている主力製品のウォーターポンプの生産能力拡大が実現するとともに、より一層の競争力強化につなげてまいります。



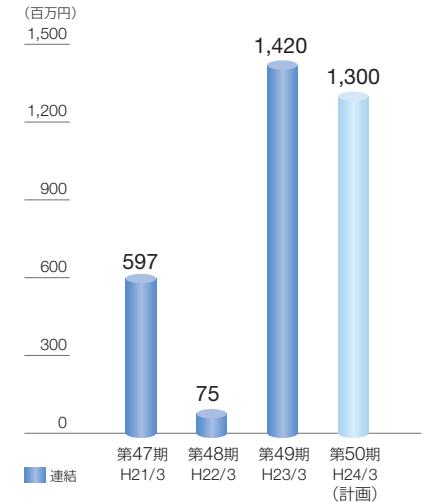
売上高



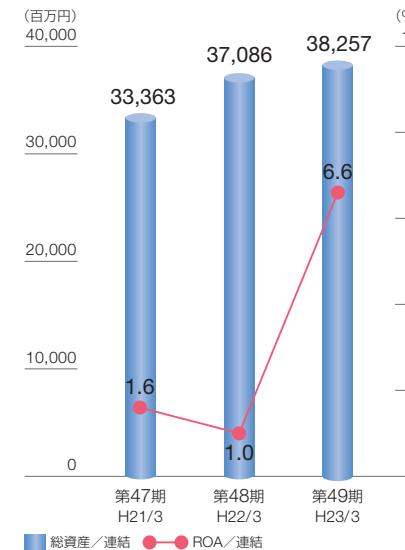
営業利益



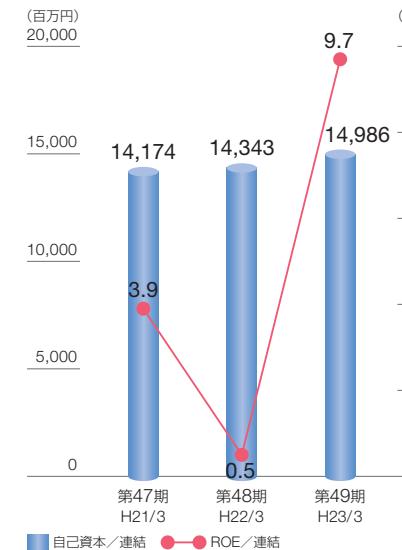
当期純利益



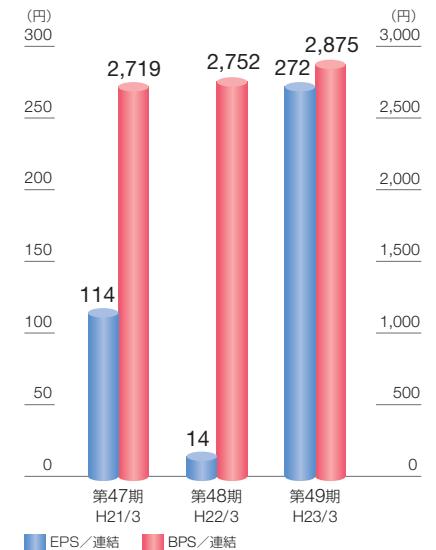
総資産/ROA



自己資本/ROE



EPS/BPS





□ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期 平成23年3月31日現在	前期 平成22年3月31日現在	科目	当期 平成23年3月31日現在	前期 平成22年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	20,290	18,545	流動負債	14,155	14,591
現金及び預金	5,084	4,102	支払手形及び買掛金	4,515	5,203
受取手形及び売掛金	6,482	5,742	短期借入金	5,216	4,511
たな卸資産	7,925	7,831	1年以内返済予定の長期借入金	1,504	2,384
繰延税金資産	122	196	1年以内償還予定の社債	60	—
未収還付法人税等	—	2	未払法人税等	448	41
その他	742	732	繰延税金負債	143	163
貸倒引当金	△68	△62	賞与引当金	156	140
① 固定資産	17,966	18,541	製品保証引当金	226	171
有形固定資産	16,939	16,998	関係会社整理損失引当金	—	75
建物及び構築物	3,472	3,579	その他	1,883	1,898
機械装置及び運搬具	6,904	7,084	固定負債	6,140	5,336
土地	5,233	5,404	社債	910	500
建設仮勘定	1,050	621	長期借入金	2,810	2,396
その他	278	309	繰延税金負債	32	40
無形固定資産	194	244	退職給付引当金	1,694	1,470
のれん	—	27	役員退職慰労引当金	241	242
その他	194	217	訴訟損失引当金	74	81
投資その他の資産	832	1,297	負ののれん	66	96
③ 投資有価証券	209	711	その他	310	507
繰延税金資産	329	319	負債合計	20,295	19,927
その他	313	305	純資産の部		
貸倒引当金	△19	△38	株主資本	17,058	15,794
資産合計	38,257	37,086	資本金	838	838
			資本剰余金	988	988
			利益剰余金	15,233	13,970
			自己株式	△1	△1
			その他の包括利益累計額	△2,072	△1,451
			その他有価証券評価差額金	△17	0
			為替換算調整勘定	△2,055	△1,451
			少数株主持分	2,975	2,815
			純資産合計	17,961	17,159
			負債・純資産合計	38,257	37,086

□ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日	前期 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日
② 売上高	43,967	29,253
売上原価	35,662	24,427
売上総利益	8,305	4,826
販売費及び一般管理費	5,433	4,249
営業利益	2,871	576
営業外収益	104	138
営業外費用	506	376
経常利益	2,470	338
特別利益	46	70
特別損失	66	162
税金等調整前当期純利益	2,450	246
法人税、住民税及び事業税	530	97
法人税等調整額	11	△55
少数株主損益調整前当期純利益	1,907	—
少数株主利益	487	129
当期純利益	1,420	75

POINT ① 設備投資

当期は、韓国や欧州向けの新車用部品市場に対応した増産投資や海外生産移管を進めた結果、総額32億円（前期比約52%増）の設備投資を実施しました。

POINT ② 大幅な増収増益を達成

韓国や欧州における新車用部品市場に加え、米国やアジアでの補修用部品市場においても販売が順調に推移したことなどにより、大幅な増収増益となりました。

POINT ③ 中国子会社の出資持分譲渡完了

前期において中国生産拠点の再編を目的として、山東吉明美工業有限公司を連結対象から除外しておりましたが、当期において、出資持分の譲渡が完了したため投資有価証券が減少しました。

□ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日	前期 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,227	2,568
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,962	△3,077
財務活動によるキャッシュ・フロー	730	△66
現金及び現金同等物に係る換算差額	△161	56
現金及び現金同等物の増減額	833	△518
現金及び現金同等物の期首残高	2,867	3,630
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△244
現金及び現金同等物の期末残高	3,701	2,867



青島吉明美汽车配件有限公司



当社及びGMB KOREA CORP.の各製品のうち、主にバルブスプール・ベアリングの製造をしております。

青島吉明美機械制造有限公司



当社及びGMB KOREA CORP.の各製品のうち、主にベアリング・ユニバーサルジョイントの部品及び製品の製造をしております。

当社(GMB株式会社)



自動車のエンジン部品であるウォーターポンプ、駆動・伝達及び操縦装置部品であるユニバーサルジョイントを中心とした部品の製造・販売及び各子会社の製品の販売を主に営んでいるとともに、グループ中核企業として先行研究開発や商品開発を行っております。また、販売上の特徴として、主に海外補修用市場向けに販売を行っております。

八尾工場



THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.



当社の各製品のうち、主にウォーターポンプ・サスペンションパーツの部品及び製品の製造をしております。また、一部タイ国内販売も手掛けております。

THAI KYOWA GMB CO.,LTD.



2009年に協和工業(株)との合併にて設立した持分法適用会社です。

GMB KOREA CORP.
第一工場



自動車部品等の各種ベアリング製品、エンジン部品であるファンクラッチ・ウォーターポンプ、駆動・伝達及び操縦装置部品であるバルブスプール・ユニバーサルジョイントを中心とした部品の製造・販売を営んでいるとともに、当社同様に先行研究開発や商品開発を行っております。また、販売上の特徴として、主に韓国国内の自動車完成品メーカー及びその系列会社への販売が中心であります。

第二工場



瑞山工場



GMB NORTH AMERICA INC.
カリフォルニア倉庫



当社グループ各社の製品を、米国を中心とした北米各国へ補修用部品として販売する販売会社であります。

GMB NORTH AMERICA INC.
ニュージャージー本社



商号 GMB株式会社
 会社設立 昭和37年5月
 資本金 838,598,000円
 代表者 代表取締役会長 松岡信夫
 代表取締役社長 南北一雄
 従業員数 連結 2,546名 単体 404名
 事業所 本社:奈良工場
 〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3
 TEL.(0745)44-1911(代)
 FAX.(0745)44-1930
 Web Site http://www.gmb.jp
 八尾工場
 〒581-0814 大阪府八尾市楠根町4丁目36番1号
 TEL.(072)997-1521(代)
 FAX.(072)997-2481
 グループ会社 GMB KOREA CORP.(韓国 慶尚南道昌原市)
 GMB NORTH AMERICA INC.
 (アメリカ ニュージャージー州)
 青島吉明美機械制造有限公司(中国 山東省萊西市)
 青島吉明美汽车配件有限公司(中国 山東省即墨市)
 THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.
 (タイ プラチンプリ県)
 THAI KYOWA GMB CO.,LTD.
 (タイ プラチンプリ県)

役員 (平成23年6月17日現在)
 代表取締役会長 松岡 信夫
 代表取締役社長 阪口 有一
 取締役副社長 森 勝
 専務取締役 小菅 清
 専務取締役 金本 現一
 常務取締役 桑村 周二
 常務取締役 加藤 正
 常勤監査役 水谷 晃
 監査役 平野 邦男
 監査役 浜本 章



発行可能株式総数 19,000,000株
 発行済株式の総数 5,212,440株
 株主数 2,062名
 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松岡 信夫	1,096,775	21.0
松岡 登志夫	700,350	13.4
松岡 光子	416,375	8.0
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	304,900	5.9
松岡 百合子	299,625	5.7
GMB従業員持株会	273,170	5.2
松岡 弘枝	122,500	2.4
金本 順子	98,750	1.9
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	75,200	1.4
松岡 祐吉	71,125	1.4

(注)持株比率は、小数点第2位以下を四捨五入して表示しております。

所有者別株式分布状況

